



民生委員児童委員と町会長

高津第二地区社会福祉協議会 副会長 程塚伸秀



民生委員児童委員になって10年が過ぎ表彰状をもらい、昨年の4月に上作延町会の町会長に就任しました。

梶ヶ谷の町会長も新しい会長に代わり、話し合いをして高津第四地区民生委員児童委員協議会(以下「民児協」という)の会長を受けることになりました。川崎市の中に各委員会があり、民児協の研修企画委員会に所属することになりました。

民児協の活動内容として、新任・2期目・中堅(3期目以上)民生委員児童委員研修会、児童委員研修会を実施しています。研修会を行うにあたり、人数、場所、会場の広さ、どのような内容で講師をお願いするか等々の会議をしています。

民児協会長になっていろいろな分野での会議が増え、同時に町会長になって町会の運営業務も考えなくてはなりません。

町会の中では各部と町会三役がいますが、おやすみをしている役員もいるため、活動できる人数で行事を行わなければなりません。助け合いが必要だと考えます。難しいです。その忙しさのなか趣味はゴルフ、釣り等々を楽しんでいます。本来の農業の仕事がおろそかになっている状況です。

この街がより良い明るく住みやすい街、隣同士が話し合いができる街、安心安全な街づくりにと考えていきたいと思えます。

第51回高津区敬老会を開催しました

高津区敬老会は、新型コロナウイルスの影響で令和2、3年度は中止、昨年度は「てくのホール」において、満90歳祝いの方と社協会長表彰、感謝の対象の方々とその関係者で規模を縮小して開催されていました。9月9日(土)、4年ぶりに一般の方の来場が再開され、第51回の高津区敬老会が高津市民館大ホールで開催されました。



式典の部では、満90歳の36名の方へのお祝品の贈呈及び老人クラブ会長功労(2名)、老人福祉功労(6名)の方へ表彰状と老人クラブ役員功労(11名)、多額寄付者(1名)の方へ感謝状が贈られました。その後、川崎の歌姫、桜井純恵さんによる敬老の方々にとっては懐かしい童謡・唱歌を中心としたスペシャルコンサートが開かれました。最後は会場が一体となって健康運動「おたっしゃ10のトライ」のテーマソング「テントラちゃんは行く」でヘルスパートナー高津の皆さんとともに健康体操で締めくくり、長寿をともに祝う一日となりました。

厚生福祉部 施設見学会

認知症対応型共同生活介護グループホーム 「たのしい家川崎溝の口」を見学してきました

2025年には満65歳以上の高齢者の5人に1人は認知症になるといわれていることから、認知症対応型共同生活介護グループホーム「たのしい家川崎溝の口」が今年7月1日に上作延にオープンしました。



9月29日(金)に、厚生福祉部主催の施設見学会が行われました。

この施設では、

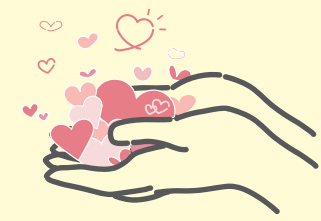
- ・当たりまえを当たりまえに自分らしく家族のように暮らせる施設を実現します
- ・地域に寄りそい地域に根付いた懸け橋になる施設になります

をテーマに運営にあたっているそうです。入居条件としては、要介護認定において、要支援2～要介護5に該当し、かつ認知症と診断されていることが必要です。定員27人全室個室での生活で、家事全般を入居者が行うことを基本として職員はサポートします。例えば、食事の支度や配膳・片付け・買い物も職員と一緒に行うとのことでした。

また、施設内には、地域の方に向けた憩いの場としての地域交流スペースが設けられており、毎月第1水曜日に認知症カフェの開催や地域包括支援センター、地域資源との連携を通したイベントや講演会などの企画が行われているとのこと、訪問した日には、地域の方むけの終活セミナーが開かれ、実際に棺に入ってみる入棺体験等が行われていました。

賛助会費ご協力ありがとうございました

このたび、地域の皆様に賛助会員のご協力をお願いしたところ、多くの方々が賛助会員に加入していただき厚く御礼申し上げます。お寄せいただきました賛助会費は社会福祉事業の推進に役立たせていただきます。



お気軽に
ご相談ください!

地域包括支援センターは 介護、福祉、健康、医療など様々な相談の窓口です

- 溝口地域包括支援センター (044-820-1133) 住所：高津区溝口1-6-10 3階
- 樹の丘地域包括支援センター (044-820-8401) 住所：高津区久地4-19-8
- リ・ケア地域包括支援センター (044-865-6238) 住所：高津区向ヶ丘130-9

編集後記

地域の行事なども少しずつ復活し、以前のように体を動かしたり、声を出したりと、笑顔もたくさん増えてきました。この「ふれあい63号」でも、戻りつつある行事や活動の様子、そして皆様のたくさんの笑顔をお届けできればと思います。取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました(企画部・藤田)。

「夏休み親と子のお楽しみ会」を実施しました

青少年福祉部では、地域に住む未就学児を対象として8月3日(木)に「夏休み親と子のお楽しみ会」を「てくのホール」にて実施しました。

絵本の読み聞かせやDVDの上映・南京玉すだれ・手品など毎回様々な内容を部会で話し合っ実施しています。

特に南京玉すだれや手品は、普段目にするのが少ないので子どもだけでなく、保護者の方々にも人気があります。

ところが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年間中止にしていたが、令和4年度から人数制限を決め、完全予約制にして感染対策に充分気をつけて再開することにしました。

参加された皆様からは、とても喜んでいただき、「楽しかった」といって笑顔で帰っていく子どもたちの様子を見ると私達も元気をもらい、これからも続けていきたいと思いました。



赤い羽根共同募金の街頭募金を実施しました

武蔵溝ノ口駅周辺および梶が谷駅前にて、赤い羽根街頭募金を実施しました。今年度の全国共通テーマは「つながりをたやさない社会づくり」です。皆様からお寄せいただいた寄付金は高津区内の地域福祉活動等に役立てられます。あたたかいご支援、ご協力、ありがとうございました。



高津区社会福祉協議会が高津区民祭に参加しました

コロナ禍による中止が続いていた高津区民祭が、7月30日(日)に、連日気温35°Cを越す猛暑日が続く、熱中症警戒アラートが発令されているなか、規模を縮小し4年ぶりに開催されました。大山街道を中心に5会場で行われ、多くの区民でにぎわっていました。高津区社会福祉協議会も高津小会場で活動紹介の展示ブースを開設しました。



地域と学校と子どもたち

川崎市立東高津中学校 校長 西村昌也



今年度、本校は40周年を迎えました。昭和59年4月、川崎市47番目の中学校として高津中学校より分離独立し、開校しました。

本校40年の歩みを考えますに、保護者並びに地域の方々の温かいご支援とご協力など、それぞれの時期や場面において皆様のご愛労が身にしみて感じられ、言い尽くせない感謝の思いを深くしております。いつの時も生徒たちへの変わらぬ豊かな愛情に支えられ、本校は充実した時を積み重ねてまいりました。

学校教育目標は「知・徳・体の調和のある人間性と、未来を創造するたくましい実践力を持つ生徒を育成する」であり、特に「思いやりのある人間愛豊かな人」「人に優しい学校」を心がけてまいりました。生徒を主役にし、彼らの真剣な眼差しや取り組む姿、やり遂げた充実感あふれる笑顔が変わらないのが東高津中学校の伝統です。

平成6年度から始まった「農家生活体験学習」は、様々な苦勞を重ね、今年度で29回となりました。2年生次に栃木県大田原市で行う宿泊体験学習は、日本の原風景という棚田が広がる地域で、農家のお宅にお世話になり農家生活を体験し、農家の方とのふれあいを通して様々なことを考える機会とするという本校の特色ある教育活動のひとつです。市内では、本校だけの取り組みとして多くの方々のご支持をいただいている貴重な行事であることは今も変わりません。もうひとつの本校の大きな特徴は、学校全体でいつでも多くの「花」が見られることです。緑化委員会の活動などを中心に、本校の生徒も「東高津と言えば花」とイメージが定着しました。生徒だけでなく、近隣地域の方々も引くような美しさです。

心のふるさととして、地域の学校として、いつまでも多くの方々に愛され親しまれる学校を目指したいと思います。

たかつ区健康福祉まつり が実施されました

例年「てくのかわさき」で開催されていた「健康福祉まつり」が、今年は「高津市民館」に会場を移し、8月20日(日)に高津区社協が主催する「みんなつながる音楽会」と同時イベントとして実施されました。

高津区社協では「おたっしやでつながる地域の輪」をテーマにMU-CHO DANCE SCHOOL・高津区主任児童委員部会・上作延最勝会・JAセサ川崎橘支店童謡グループの4団体による歌とダンス・踊りの発表がありました。フィナーレは、川崎の歌姫、桜井純恵さんとヘルスパートナー高津・児童合唱団なかよしくらぶ・日舞OG会による「テトラちゃんは行く」「僕たちのうた」「テトラ音頭」を会場につめかけた観客と一体となって歌い、振付に合わせて踊り、猛暑の午後のひととき、最高の盛り上がりが見られました。

